

第2学年 保健体育科学習指導案 (日南振徳高等学校)

平成27年10月23日 金曜日 2校時  
 第2学年経営情報39名(男子14名、女子25名)  
 場所 視聴覚室  
 指導者 川崎 真琴 T1 森山 良子 T2

1 単元名 保健 「生涯の各段階における健康(思春期と健康)」

2 単元の目標 (第2学年)

(1) 生涯の各段階における健康について、資料を探したり、見たり、読んだりしながら課題解決に向けた意見交換などの学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。  
 (関心・意欲・態度)

(2) 生涯の各段階における健康について、資料等で調べたことを基に課題を整理したり、学習したことを、個人及び社会生活や事例と比較したり、分類したりするなどし、筋道を立ててそれらを説明することができるようにする。  
 (思考・判断)

(3) 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかっていることを、心身の発達や健康状態などについて理解したことを発言したり、記述したりすることができる。  
 (知識・理解)

3 単元の評価規準 (第2学年)

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
単元の評価規準	生涯の各段階における健康について、資料を探したり、見たり、読んだりしながら課題解決に向けた意見交換などの学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	生涯の各段階における健康について、資料等で調べたことを基に課題を整理したり、学習したことを、個人及び社会生活や事例と比較したり、分類したりするなどし、筋道を立ててそれらを説明することができるようにする。	生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかっていることを、心身の発達や健康状態などについて理解したことを発言したり、記述することができる。
学習活動に即した評価基準	①生涯の各段階における健康について、資料を探したり、見たり、読んだりしながら健康へのかかわりを確認するなどの学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ②生涯の各段階における健康について、グループでの話し合いなどで意見を交換したり、自分の考えを発表したりする活動を通して、学習活動に主体的に取り組もうとしている。	①提示された情報を分類したり、整理したりし、グループ活動の中で互いの意見に対し、理解したり、自分たちの生活や事例などと比較したりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。	①思春期における心身の健康課題について特に性的成熟に伴い、心理面、行動面が変化することについて理解したことを発言したり、記述したりしている。 ②性的成熟の伴う心理面、行動面の変化に対応した自分への行動の責任や異性尊重の態度、性に関する情報への適切な対処について理解したことを発言したり、記述している。 ③結婚生活について、心身の発達や健康状態など保健の立場から理解したことを発言したり、記述している。 ④結婚生活において、受精、妊娠、出産それぞれの健康課題や結婚生活を健康に過ごすためには自他の健康への責任感、人間関係、支援および保健医療サービスの活用が必要なことについて理解したことを発言したり

		<p>記述している。</p> <p>⑤家族計画や人工妊娠中絶について理解したことを、発言したり記述したりしている。</p> <p>⑥加齢に伴う心身の変化と中高年期を健やかに過ごすための、適切な健康習慣や自己管理の重要性また、生きがいを持って生活することや人間関係や地域交流が重要であることなどについて理解したことを発言したり、記述したりしている。</p> <p>⑦中高年の健康課題に対する支援や高齢社会の到来に対応した総合的な対策の必要性について理解したことを発言したり記述したりしている。</p>
--	--	---

#### 4 指導観

##### (1) 教材観

平成20年の中央教育審議会答申において、新学習指導要領の改善の基本方針として、保健については、「小・中・高等学校を通じて系統性のある指導ができるように、子どもたちの発達の段階を踏まえて保健の内容の体系化を図る。」とある。小学校段階では、体育において、「異性への関心」を、中学校段階では、保健において「異性への尊重」を内容として取り扱っている。高等学校段階では、大単元「生涯を通じる健康」の中単元「生涯の各段階における健康」のなかの本単元である「性意識と性行動の選択」において学習内容の体系化を具体的に図っていく。

思春期は性意識が大きく変化する時期であるとともに、様々な性情報への接触が増える時期でもある。この時期の生徒に、異性との人間関係や性情報に対してどのようなことに配慮した行動が必要なのか考えさせていきたい。

##### (2) 生徒観

クラスの実態として、本教材導入前に行ったアンケートでは、保健学習が将来役立つと思うと答えている生徒は9割を越え、積極的に取り組んでいるという項目も7割以上が取り組んでいると答えた。授業においては、理解度は高く、積極的に意見を発表したり、話し合いなどのグループ演習を行う雰囲気定着している。

異性については「気になる」、「異性と付き合いたい」。将来は結婚したいと回答した生徒が7割近くおり、異性や将来の結婚についての関心は高いことがうかがえる。しかし、性の社会問題については4割の生徒に関心の低い部分が見られる。

##### (3) 学習を進めるに当たって

保健学習に興味・関心が高い生徒が多く、発表や話し合いの場面（言語活動の充実）において積極的に話し合うことはできている。しかし、意見等の集約における能力が不足している現状を踏まえて、グループ活動での意見の合意的形成と課題解決を積極的に進めたい。さらには、知識の習得を重視した上で、知識を活用する学習活動を積極的に行うため、授業前アンケートや学校の現状を活用しながら、専門性を有する養護教諭とのTTで授業を進めていきたい。

また、日南申間支部における研究の一環として、「養護教諭のかかわり」をテーマに行っている。授業のどの教材において養護教諭が関われば生徒が意欲的かつ内容が深まるのかを検証していきたい。

6 本時の展開 (2 / 7 時間)

(1) 思春期と健康②

(2) 本時の目標

- ・生涯の各段階における健康について、グループでの話し合いなどで意見を交換したり、自分の考えを公表したりする活動を通して、学習活動に主体的に取り組むことができる。  
(関心・意欲・態度②)
- ・性的成熟に伴う心理面、行動面の変化に対応した自分への行動の責任や異性尊重の態度、性に関する情報への適切な対処について理解したことを発言したり、記述したりすることができる。  
(知識・理解②)

(3) 展開

: ねらい  : 学習内容  : 発問・指示など

時間	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導 入  5 分	<p>1. 異性に対する性意識について整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のグループを編成する。</li> <li>・事前アンケートの結果を説明し、男女の性意識の違いについて理解する。</li> </ul>	
展 開  ① 20 分	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     異性との交際に期待するものは何だろうか？                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     性意識の違いによって起こるトラブルなどの問題点について考えよう。                 </div> <p>2. 教師 (T1) の説明により、本時の学習のねらいを把握する。</p> <p>3. 男女の性意識の違いをグループごとにまとめ、多かった意見を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループから出た意見や資料について男女間の性意識の差について理解を共有する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     男女の性意識の差の根本にあるものや性意識の差によって問題とっていることなどを考えてみよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループから出た意見についてまとめ、問題点や課題を理解する。</li> <li>・セクシャルハラスメントやストーカー行為などの社会問題や学校における高校生の性意識の違いについて教師 (T2) の説明を聞き、理解する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     思春期における心理面、行動面の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を尊重する態度が必要であること。                 </div>	<p>○交際をする相手に望むことや一般論として社会における男性・女性像について確認させる。</p> <p>○本時は、性意識の違いや異性の尊重などによって相手を傷つけてしまうことがあることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの意見や資料をもとに、男女の性意識の違いに着目するように促す。</li> </ul> <p>○問題点や課題を板書し、理解を深めさせる。</p> <p>○セクシャルハラスメントの意味やストーカー行為における法的処罰、デートDV問題についても触れる。</p> <p>◆関心・意欲・態度 思春期における性意識の違いや課題、問題点をグループでの話し合いなどで意見を交換したり、自分の考えを公表したりする活動を通して、学習に主体的に取り組んでいる。</p>

<p>展 開 ② 25 分</p>	<p>4. 教師 (T1)の説明を聞き、性に関する情報源について考える。</p> <p>-----          高校生の持つ性に関する情報源 (男女交際のあり方や性行動の方法、性体験の年齢など) はどこから得た情報だろう。          -----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内で出された意見をまとめ、その情報源が確実なデータに基づくものであったかを検討する。</li> <li>・誤った性情報により、高校生の性に関する行動が自分の意思に反してしまうことがあることについて考える</li> </ul>	<p>○出された意見について「情報源」の視点を持たせるように促します。</p>
	<p>性に関する情報等への適切な対処が必要であること。</p>	
	<p>5. 教師 (T2)の説明を聞き、性に関する意思決定・行動選択についてまとめる。</p> <p>-----          誤った性に関する意思決定・行動選択を確認し、どのような対応をすればよいか「吹き出しに」自分の対応策を記入してみよう。          -----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースカードをもとに、各自の視点を説明する。</li> <li>・ケースカードに記入し、グループ内で意見を確認することにより、どのような対応が正しい性にかかわる意思決定・行動選択かの理解を共有する。</li> <li>・教師 (T1)のまとめを聞き、本時の学習内容の整理をする。</li> <li>・次時の予告を聞き、学習の見通しを持つ。</li> </ul>	<p>○性に関する意思決定・行動選択によって相手を傷つけたり、相手や自分自身の人生設計まで狂う可能性があることなど助言する。</p> <p>○これまでの学習内容や説明を踏まえて、各々でカード吹き出しに記入させる。</p> <p>○交際するにあたっては、相手の人格・立場を尊重してとらえること、また、性にかんする意思決定・行動選択によって人生に大きな影響をあたえることを知識として定着させる。</p>
	<p>思春期における心理面、行動面の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を尊重する態度が必要であること。</p>	